

富津市献血推進協議会会議録

1 会議の名称	平成29年度富津市献血推進協議会
2 開催日時	平成29年4月20日(木) 午後2時00分～午後2時30分
3 開催場所	富津市役所 4階 401会議室
4 審議等事項	(1) 平成28年度富津市献血推進協議会 事業実績報告について (2) 平成29年度富津市献血推進協議会 事業実施計画(案)について
5 出席者名	献血推進協議会委員(14名) 高橋恭市、島津 太、刈込浩一、熊切 篤、 石垣成彦、相澤靖司、森田 久、杉本秀幸、 福原好子、望月裕里、小川麻身子、鹿島 榮、 大野泰代、五月女正巳 千葉県赤十字血液センター(2名) 推進課長 伊藤基之、推進課主事 北村俊貴 事務局(3名) 健康づくり課長 下間節子、 健康づくり課長補佐 藤寄 勉、 健康づくり課主任主事 吉村 直
6 公開又は非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7 非公開の理由	富津市情報公開条例第23条第 号に該当
8 傍聴人数	0人(定員10人)
9 所管課	健康福祉部健康づくり課 電話 0439-80-1268
10 会議録(発言の内容)	別紙のとおり

平成29年度富津市献血推進協議会会議録

発言者	発言内容
下間課長 (事務局)	<p>平成29年度富津市献血推進協議会の開会を宣言</p> <p>本日の会議が16名のうち、出席委員14名、欠席委員2名で、会議が成立することを報告</p> <p>会議の公開について説明</p> <p>本日は傍聴人はいない。</p>
会長 (市長)	会長挨拶
刈込委員	千葉県君津健康福祉センター副センター長挨拶
血液センター 伊藤推進課長	千葉県赤十字血液センター推進課長挨拶
下間課長 (事務局)	議事進行が、協議会設置要綱第6条により会長であることを説明
議長 (市長)	<p>議長を務めさせていただく。</p> <p>会議録署名委員の指名</p> <p>指名は会長一任でよろしいか。</p>
委員一同	異議なし
議長 (市長)	<p>会議録署名委員は、杉本委員と望月委員を指名</p> <p>次第3、議題に入る</p> <p>議題(1)平成28年度富津市献血推進協議会事業実績報告について、事務局の説明を求める。</p>
藤寄課長補佐 (事務局)	<p>資料により説明</p> <p>(説明要旨)</p> <p>平成28年度富津市献血推進協議会事業実績報告</p> <p>400ml 献血 1,025人      200ml 献血 78人      合計 1,103人</p> <p>41会場で実施</p>

議長（市長）	質問があればお願いしたい。
委員一同	特になし
議長（市長）	質問ないため承認としたい。 議題（２）平成 29 年度富津市献血推進協議会事業実施計画（案） について、事務局の説明を求める。
藤寄課長補佐 （事務局）	資料により説明 （説明要旨） 平成 29 年度富津市献血推進協議会事業実施計画（案） 平成 29 年度献血目標 県目標 400ml 献血 570 人 200ml 献血 40 人 合計 610 人 市目標 400ml 献血 1,066 人 200ml 献血 82 人 合計 1,148 人 平成 29 年度事業計画 延べ 41 カ所で実施予定
議長（市長）	質問があればお願いしたい。
委員一同	特になし
議長（市長）	質問ないため承認としたい。 続いて次第 4、千葉県の献血状況について説明いただく。
血液センター 伊藤推進課長	千葉県の献血状況について 400ml 献血は、目標数 148,690 人に対して実績数 149,780 人、達成率は 100.7%。 200ml 献血は、目標数 12,876 人に対して実績数 9,736 人、達成率は 75.6%。 献血ルームのみで実施している成分献血については、目標数 70,516 人に対して実績数 59,688 人、達成率は 84.6%となっている。 献血者数の合計は、目標数が 232,082 人に対して、実績数 219,204 人、達成率は 94.5%となっている。 以上の実績数を、それぞれ平成 27 年度と比較すると、400ml 献血はプラス 5,118 人、200ml 献血はマイナス 4,303 人、成分献血はマイ

ナス 3,147 人で、総献血者数では 2,332 人の減少となっている。

平成 28 年度においては、平成 27 年度実績に比べると、400ml 献血だけが増加を図れ、その他については、すべてマイナスという結果となっている。

次に平成 29 年度の千葉県の献血目標数であるが、県内の医療機関への輸血用血液の供給予測数及び国から県に割り当てられている血液製剤用の原料血漿の確保目標量を基本として、1 月 23 日に開催された千葉県献血推進協議会において、225,821 人と設定されている。

400ml 献血の目標数の合計は 150,291 人、200ml 献血の目標数の合計は 7,910 人、成分献血の目標数は 67,620 となっている。この目標数を昨年度の目標数と比較すると、400ml 献血は 1,601 人の増加、200ml 献血はマイナスの 4,966 人、成分献血はマイナスの 3,147 人、献血者合計では 2,332 人の減少となっている。

前年度比を見ると昨年より献血者数は少なくとも良い計画となっているが、平成 28 年度の実績と平成 29 年度の計画数を比較すると、200ml 献血については、1,826 人の減少は出来るものの、400ml 献血は 511 人の増加、また成分献血は 7,932 人の増加を図らなくてはならないという計画になっている。

前年実績よりさらに推進の強化をし、献血者数の増加を図らなければならない。

全血献血の計画の内訳としては、献血ルームと医療採血車の割合は、献血ルームが 47%、医療採血車が 53%。また、400ml 献血率の目標は平成 28 年度は 92%であったが、平成 29 年度の目標は 95%で 3 ポイント引き上げられている。これは医療機関のニーズに答えるための目標設定となっている。

一 昨年の医療機関での 400ml 献血依頼の血液製剤の実需要は 96.3%であったが、昨年度は 97.6%と 1.3 ポイント増加している。

これに見合った採血ということで 400ml 献血率も上がっている。

このような計画を移動採血車は千葉県内の計 10 台、合計 2,007 稼動、1 台の目標を来場者数 50 人、実献血者数 42 人、また献血ルームは全 6 ルーム、2,114 稼動、1 日の来場者数を 79 人、実献血者数を 68 人と予定している。

次に平成 19 年から平成 28 年までの 10 年間にわたる年齢別の献血者数であるが、千葉県においては、40 歳台から 50 歳台の方々は、平成 19 年以降も増加又は横ばいというところであるが、その他の 10 代、20 代及び 30 代の献血者数は平成 22 年度あたりから減少している。このような傾向は千葉県だけではなく、全国的にも同じような傾向にある。今後、高齢化社会ということもあり、患者さんは増加する予測もある。また、高度医療に伴う使用量の増加も考えられている中で、現在、千葉県の献血を主に支えている中高年の方々が患者さん側になった場合のことを考えると、非常に血液の確保が厳しくなると考えられる。

そのようなことから、10 代、20 代、30 代の方々に献血経験のない方、また献血経験はあるものの再来されていない方々、そういった

方々の推進をしていくことが重要であると考えている。

対策としては、複数回献血クラブの会員の推進を行う。この登録者数は、現在千葉県では 28 年度末までに約 78,000 人の方が登録をいただいている。29 年度も引き続きプラス 18,000 人の目標を立て、合計 96,000 人まで引き上げ、会員数の増加を図る。

また、若年層強化ということで、将来を見据え、小学生の医療現場や血液センターの見学、一緒に考える献血セミナーの開催、また高等学校や大学で希望された学校については、献血の出前講座等の実施を考えている。

日本赤十字社では医療機関からの要請に対応するため、400ml 献血の推進をしている。これは医療機関における血液製剤の要請は 97.6%が 400ml 献血であるからであるが、医療機関へ実際に供給された 400ml 献血率は 95.7%で 1.9%不足している。さらにそのような状況の中で採血の状況は 93.9%で、医療機関からの要請状況に比べると 3.7%も低い結果となっている。医療機関のニーズに合わせるために更なる 400ml 献血の推奨を図る推進が必要となっている。

今後も血液の使用量は横ばい若しくは増加という予測もたっているところであることから、安全な血液の安定的な確保に努めていきたいと考えているので、よろしくお願ひしたい。

議長（市長）

何かあれば質問をお願いしたい。

委員一同

特になし

議長（市長）

以上で本日の会議を終了する。

下間課長  
（事務局）

平成 29 年度富津市献血推進協議会の閉会を宣言